

令和元年度（平成30年度事業対象）

平泉町教育委員会の事務事業等に関する点検評価報告書

令和元年8月

平泉町教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）、教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受けて平泉町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たしていくために、平成 30 年度の平泉町教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い本報告書にとりまとめました。

今回の結果については、これからの施策等に反映するとともに、継続的に事業の改善を図って参ります。

## 目 次

1	実施方法	1
2	教育委員会の活動状況	2
3	点検評価結果	
	I 学校教育	4
	II 社会教育	13
	III 文化行政	28
	IV 生涯スポーツ	37
4	評価委員会の意見	41
5	参考資料	44
	I 学校教育指導指針	44
	II 社会教育行政施策体系	47
	III 文化行政施策体系	48
	IV 生涯スポーツ振興体系	49

# 1 実施方法

(別紙)

## (1) 点検評価の対象について

点検及び評価の対象とする事務事業は、平泉町総合計画後期計画の施策体系に基づいて、平成30年度の教育委員会の主要な事務事業を対象とする。

## (2) 評価実施の流れについて

### 1) 一次評価（内部評価）

教育委員会が行なった事業について、教育委員会内部で自己評価を行う。

### 2) 二次評価（外部評価）

一次評価を行なった事業について有識者から意見を求める。

### 3) 教育委員会議の承認

### 4) 議会に対する報告書の提出・公表

報告書を議会に提出し、町民に公表（ホームページに掲載）する。

## (3) 評価委員会の設置について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定の趣旨に基づき、事務事業の点検及び評価を行なうに際し、学校教育に関し学識経験を有する者、社会教育に関し学識経験を有する者及び地域代表者により構成する評価委員会を置き、意見を求める。

## 2 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会の構成（平成30年度）

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	岩 淵 実	
教育長職務代理人	本 澤 京 子	
教 育 委 員	三 澤 恒	
教 育 委 員	山 平 功 二	
教 育 委 員	三 浦 英 子	

### (2) 教育委員会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回の定例会及び必要に応じて臨時会を開催し、以下の議案等について審議した。

会 議 名	議 案 番 号	件 名	結 果
第2回臨時会 (5/9)	議案第10号	教職員人事異動の内申について	可決
5月定例会 (5/23)	議案第11号	平泉町教育委員会会議規則の一部改正について	可決
	議案第12号	平泉町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	可決
7月定例会 (7/24)	議案第13号	中学校教科用図書採択に関し議決を求めることについて	可決
	議案第14号	平成29年度平泉町教育委員会の事務事業等に係る点検評価事項(案)に関し意見を求めることについて	可決
8月定例会 (8/23)	承認第1号	平成29年度平泉町教育委員会の事務事業等に係る点検評価に関し承認を求めることについて	承認
第3回臨時会 (9/4)	議案第15号	平泉町教育委員会委員長の選挙について	可決
	議案第16号	平泉町教育委員会委員長職務代理人(順位第1及び順位第2)の指定について	可決
9月定例会 (9/28)	議案第17号	平泉町新社会教育施設計画懇談会設置要綱の制定について	可決
10月定例会 (10/23)	議案第18号	育英資金貸付基金条例の一部改正について	可決
	議案第19号	育英資金貸付規則の一部改正について	可決

	議案 第 20 号	平泉町教育委員会専決代決規程の一部改正について	可決
11月 定例会 (11/22)	議案 第 21 号	平泉町私立高等学校生徒学費補助金交付要綱の一部改正について	可決
第1回 臨時会 (1/4)	議案 第 1 号	平泉町教育委員会教育長職務代理者の指定について	可決
	議案 第 2 号	平泉町教育委員会委員の議席の決定について	可決
1月 定例会 (1/21)	議案 第 3 号	平泉町教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について	可決
2月 定例会 (2/15)	議案 第 4 号	平泉町教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について	可決
	議案 第 5 号	平成31年度平泉町教育委員会教育行政方針について	可決
	議案 第 6 号	平成31年度教育費予算(案)について	可決
第2回 臨時会 (2/27)	議案 第 7 号	教職員人事異動の内申について	可決
3月 定例会 (3/26)	議案 第 8 号	教育機関の長の人事について	可決
	議案 第 9 号	課長級の職員の人事について	可決
	議案 第 10 号	平泉町立小・中学校管理運営規則の一部改正について	可決
	議案 第 11 号	平泉町立小・中学校における事務の共同実施に関する規程の制定について	可決
	議案 第 12 号	平泉町社会教育施設整備運営検討委員会設置要綱の制定について	可決
	議案 第 13 号	平泉町社会教育施設整備事業実施方針について	可決
	議案 第 14 号	平泉町社会教育施設整備事業要求水準書(案)について	可決

### 3 点検評価結果

#### I 学校教育（1 学校経営・教育課程）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 学校経営の充実</p>	<p>1) 校長等会議の実施</p> <p>町内の町立幼稚園長、小・中学校長、副校長と教育委員会事務局による会議を行った。授業参観の際には、長島保育所長にも参加いただき、幼保小中の連携を図った。</p> <p>学校経営の充実を図るために、授業参観、情報交換を行った。</p> <p>第1回校長等会議：4月10日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度教育行政方針について</li> <li>・学校教育、社会教育関係事業について</li> <li>・英語検定補助事業について</li> <li>・教育支援推進事業について</li> </ul> <p>第2回校長等会議：7月10日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長島保育所・長島小学校 参観</li> <li>・平泉学講演会（6/28）、小中交流研（6/22）の実施報告について</li> </ul> <p>第3回校長等会議：8月31日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT配置事業について（成果・課題等）</li> <li>・読書推進員配置事業について（成果・課題等）</li> <li>・全国学力学習状況調査結果の分析について</li> <li>・通学路合同点検について</li> </ul> <p>第4回校長等会議：11月15日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平泉小学校 参観</li> <li>・児童生徒の問題行動等調査の結果について</li> <li>・県学習定着度状況調査結果について</li> <li>・来年度の主要行事について</li> <li>・管外視察研修（10/25）の実施報告について</li> </ul> <p>第5回校長等会議：1月23日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平泉幼稚園、平泉保育所、平泉中学校 参観</li> <li>・来年度の教育課程編成、行事予定について</li> <li>・いじめ問題について</li> <li>・CRT検査の結果について</li> </ul> <p>第6回校長等会議：2月28日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度平泉町教育大綱及び教育行政方針について</li> <li>・平成31年度学校教育の重点及び教育関係行事について</li> <li>・小学校プログラミング教育への取り組みについて</li> </ul>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>6回中3回の会議を幼保小中を会場として副校長も参加し実施した。授業参観を通して、それぞれの経営や、子どもたちの様子について共通理解を深めることができた。幼保小中間の連携の深化に大きく影響した。諸調査の結果をもとに、授業改善や家庭学習のあり方が協議されたことにより、一層の指導力向上や学力向上が期待される。</p>	

## I 学校教育（2 学習指導）

具体的施策	事業の内容
(1) 基礎学力の定着	<p>1) 学習定着度調査            目標基準準拠検査（C R T）を実施し、児童、生徒の学力の実態を把握するための調査・分析を行った。</p> <p>①実施            1 2 月実施            小学校 1 年生～ 6 年生 国語、算数            中学校 1・2 年生 国語、社会、数学、理科、英語</p> <p>②分析            ・ 観点別・領域別 努力を要する部分について            ・ 今後の指導について</p> <p>③対策            分析結果を校長等会議で報告し、各校への取り組みを進めた。</p> <p>2) 小中交流研修会</p> <p>①実施            6 月 2 2 日（金） 会場：平泉小学校</p> <p>②参加者            町内小中学校教職員 教育委員会関係者</p> <p>③内容            平泉小学校から授業提案があった、道徳、外国語活動、算数（3 コース）をもとに授業研究会を実施した。どの教科についても活発な質疑応答がなされた。</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>調査結果を受け、各校での成果と課題を明確にし、実際の出題内容や誤答傾向を紹介しながら経年比較による分析、評価を行った。</p> <p>小中交流研修会では、道徳、外国語活動、算数の 3 分科会による提案授業・研究会を行うことにより、町内教職員にとっては新学習指導要領への理解が深められる良い機会となった。</p>	

## I 学校教育（2 学習指導）

具体的施策	事業の内容
(2) 特別支援教育の充実	<p>1) 教育支援推進事業            専門家チームを組織し、町内の幼稚園、保育所、小・中学校を訪問した。子どもへの具体的な支援策について助言を行った。</p> <p>①定期巡回相談            町内の幼稚園、保育所、小・中学校の 5 施設を 2 回ずつ日程を決めて訪問を行った。</p> <p>②随時巡回相談            町の特別支援教育コーディネーターが、依頼に応じて随時訪問を行った。</p>

2) 特別支援教育支援員の配置

通常学級での支援を必要とする児童生徒の増加から、個に応じた支援を中心に行う支援員の配置を行った。

【配置】

平泉小学校：5人 長島小学校：3人 平泉中学校：3人  
計11人の特別支援教育支援員の配置

3) 特別支援教育支援員研修会の実施

特別な支援を必要とする児童・生徒への具体的な支援方法について学び、年度初めの早期からの支援教育の充実につなげるための研修会を行った。

①実施

5月11日（金）13：30～16：00 会場：平泉町役場

②参加者

幼稚園、保育所、小・中学校特別支援教育CO、支援員等  
計18人

③講師

平泉町教育支援推進事業専門家チーム員	沖田 憲一 先生
子育て支援いっすね	鈴木 和子 先生
一関清明支援学校	柿崎 明弘 先生
一関清明支援学校	岩崎 和子 先生

4) 教育支援委員会の運営

心身に障がいをもつ幼児児童生徒について、合理的配慮のもと適正な就学、学びの場に係る協議・助言を行った。

①実施

年間3回（6月、10月、12月）会場 平泉町役場

②参加者

精神科医、一関児童相談所心理司、一関清明支援学校教諭、保健センター所長・次長、幼稚園長、保育所長、町内小・中学校長、各校特別支援教育コーディネーター、平泉町教育委員会事務局員

【評価及び今後の方向性】

専門家チームによる取り組みを通して、教育支援課題の解決に向けて、具体的な改善ができた。特に、研修会では、各所属での支援の状況や成果・課題について活発な協議が行われた。町内では、支援を要する児童生徒等の人数が増加傾向にあり、それに伴い、知能検査等の検査依頼件数が増加している。さらには検査者の確保が課題である。学校関係者からは支援員数のさらなる増加を望む声が多い。

## I 学校教育（2 学習指導）

具体的施策	事業の内容																														
(3) 英語教育の充実	<p>1) A L T（外国語指導助手）配置事業 町内で A L T を 2 名配置した。うち 1 名が中学校配置、もう 1 名は幼保小担当として配置した。幼保小については、曜日ごとに各所を訪問し、ネイティブな英語に慣れ親しむ機会を増やした。</p> <p>2) 検定補助事業 中学校の全生徒を対象に英語検定への全額補助事業を行った。</p> <p><b>【平成 29 年度】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 年生</th> <th>2 年生</th> <th>3 年生</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ人数／ 在籍人数</td> <td>135／69</td> <td>179／60</td> <td>117／54</td> <td>431/183</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>195.6 %</td> <td>298.3 %</td> <td>216.7 %</td> <td>235.5 %</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p><b>【平成 30 年度】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 年生</th> <th>2 年生</th> <th>3 年生</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ人数／ 在籍人数</td> <td>122／59</td> <td>198／66</td> <td>115／58</td> <td>435/183</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>206.7 %</td> <td>300.0 %</td> <td>198.2 %</td> <td>237.7 %</td> </tr> </tbody> </table>		1 年生	2 年生	3 年生	計	延べ人数／ 在籍人数	135／69	179／60	117／54	431/183	割合	195.6 %	298.3 %	216.7 %	235.5 %		1 年生	2 年生	3 年生	計	延べ人数／ 在籍人数	122／59	198／66	115／58	435/183	割合	206.7 %	300.0 %	198.2 %	237.7 %
	1 年生	2 年生	3 年生	計																											
延べ人数／ 在籍人数	135／69	179／60	117／54	431/183																											
割合	195.6 %	298.3 %	216.7 %	235.5 %																											
	1 年生	2 年生	3 年生	計																											
延べ人数／ 在籍人数	122／59	198／66	115／58	435/183																											
割合	206.7 %	300.0 %	198.2 %	237.7 %																											
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>小学校 3，4 年生では、新たに外国語活動の授業（年間標準で 35 時間）が始まった。また、5，6 年生では、2020 年度からの新学習指導要領における年間標準 70 時間の確保について検討され、平泉小では先行実施された。小学校での外国語活動により、今後は英語の学習に対する関心・意欲が一層高まることが期待される。教員への負担増加を軽減するためにも、外国語指導助手、担当教員、A L T による T T 指導の継続が一層期待される。検定補助事業については、今後も英語検定への全額補助を行う方向で考えたい。</p>																															

## I 学校教育（3 豊かな心を培う教育活動）

具体的施策	事業の内容
(1) 生徒指導の充実	<p>1) 適応支援相談員配置 不登校や別室登校の児童生徒の学校適応を図るための相談員を配置した。</p> <p><b>【実績】</b> 適応支援員の配置（平泉中学校に 1 人） 配置中学校区内の小学校への訪問相談 * 不登校発生率（H30 から新たに不登校（月 7 日以上欠席または年 30 日以上欠席の状況）になった生徒の割合） H28 年度 0.17%、H29 年度 0.90%、H30 年度 0.18%</p>

**【評価及び今後の方向性】**

以前から欠席がちであった生徒については、適応支援員の活用によりきめ細やかな支援により欠席日数が減少している。町内では、支援を要する児童生徒等の人数は増加傾向にあるため、学校関係者からは支援員数の増加を望む声が多い。

**I 学校教育（3 豊かな心を培う教育活動）**

具体的施策	事業の内容
(2) 豊かな心を育む情操教育	1) 読書推進員配置事業 児童がより本に親しみ、本を活用できる環境を整えるために、読書推進員を配置し、図書館教育の充実を図った。 <b>【実績】</b> ①配置 読書推進員 1 名を平泉小学校、長島小学校へ巡回配置した。 勤務：平泉小に週 2 日（月火）、長島小に週 2 日（水金）平泉中に週 1 日（木） ②業務内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊図書購入リスト作成補助と受け入れ作業</li> <li>・平泉町立図書館からの本の団体貸出、管理、返却</li> <li>・図書館ボランティアと連携した読み聞かせ、本の紹介</li> <li>・図書委員会の活動サポート</li> <li>・卒業祝品の図書リスト作成</li> <li>・本の修繕 など</li> </ul>
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 館内装飾や書架表示の作成等の環境整備、児童生徒・教職員への図書紹介や読み聞かせ等により、読書に対する関心、図書室の活用意識は高い水準で維持されている。 読書活動に合わせた出勤時間、曜日の弾力的運用については今後も柔軟に考えて、対応していきたい。	

## I 学校教育（4 健康の保持・増進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を目指した指導</p>	<p>1) 学校警察連絡協議会事業            児童・生徒の健全育成のために、各関係機関との連携を図る。</p> <p>①実施</p> <p>第1回 総会 6月13日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の運営報告及び本年度の運営計画について</li> <li>・いじめ防止基本方針について</li> <li>・町内、管内の生徒指導に係る情報交換</li> </ul> <p>第2回 補導部会 7月5日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の問題行動、いじめ等について</li> <li>・夏期休業における指導の確認と情報交換</li> </ul> <p>第3回 補導部会 12月7日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の問題行動、いじめ等について</li> <li>・冬期休業における指導の確認と情報交換</li> </ul> <p>②参加者</p> <p>一関警察署交通安全課長、町内駐在所長、所員、県南教育事務所在学青少年指導員、各小・中学校長、各校生徒指導担当、平泉町教育委員会事務局員</p>
<p><b>【評価と今後の方向性】</b></p> <p>児童・生徒の健全育成に係る現状について、関係機関と情報交換を行うとともに、各校の生徒指導の様子について協議、情報交換できた。</p> <p>また、「登下校防犯プラン」に係る防犯上心配される箇所の有無について話し合うことができた。</p> <p>児童・生徒の健全育成にかかわって、今後も問題行動、いじめの未然防止、早期対応について検討していきたい。</p>	

## I . 学校教育（4 . 健康の保持・増進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を目指した指導</p>	<p>2) 学校給食の充実</p> <p>食を通して児童生徒の健康の維持・改善を図るため、学校給食の改善向上を図っていく。</p> <p>年間給食実施回数 175回(平泉小学校・長島小学校)            164回(平泉中学校)</p> <p>○ 平泉町学校給食協議会各種事業</p> <p>学校給食実施校相互の連絡協議と学校給食の改善向上を図るため、各種事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度学校給食協議会総会(6月12日)</li> <li>・調理研修会及び給食衛生研修会(8月9日)</li> <li>・親子調理実習教室(11月17日)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食協議会だより発行(1月)</li> <li>・平成30年度平泉町学校給食協議会活動反省会(2月18日)</li> </ul> <p>○ 学校給食食材放射性物質検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 給食食材 23件</li> <li>② 給食 <ul style="list-style-type: none"> <li>平泉小学校 39食</li> <li>長島小学校 36食</li> <li>平泉幼稚園・平泉保育所 50食</li> <li>長島保育所 51食</li> </ul> </li> </ul> <p>*検査の結果、放射性セシウム134、137はすべて不検出</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>給食食材における放射性物質検査を引き続き実施し、随時情報提供を行い保護者の不安解消に努めた。</p> <p>また、学校給食等における食物アレルギーの対応として町内の学校や保育所等の対応状況について情報交換するための対応委員会を開催し、食物アレルギーによる事故の防止と発生時の対応について意識強化を図った。</p>	

#### I. 学校教育（4. 健康の保持・増進）

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を目指した指導</p>	<p>3) 学校保健の充実 学校保健安全法に基づき児童・生徒を対象とした検診を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 内科検診 対象：幼稚園・小学校・中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>平泉幼稚園 42人（受診勧奨者：0人）</li> <li>平泉小学校 273人（受診勧奨者：0人）</li> <li>長島小学校 84人（受診勧奨者：1人）</li> <li>平泉中学校 189人（受診勧奨者：8人）</li> </ul> </li> <li>② 耳鼻科検診 対象：小学校・中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>平泉小学校 266人（受診勧奨者：42人）</li> <li>長島小学校 84人（受診勧奨者：42人）</li> <li>平泉中学校 187人（受診勧奨者：39人）</li> </ul> </li> <li>③ 眼科検診 対象：小学校・中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>平泉小学校 268人（受診勧奨者：41人）</li> <li>長島小学校 84人（受診勧奨者：15人）</li> <li>平泉中学校 190人（受診勧奨者：32人）</li> </ul> </li> </ul>

- ④ 歯科検診 対象：幼稚園・小学校・中学校  
 平泉幼稚園 42人（受診勧奨者：8人）  
 平泉小学校 268人（受診勧奨者：118人）  
 長島小学校 84人（受診勧奨者：36人）  
 平泉中学校 193人（受診勧奨者：32人）
- ⑤ 尿検査 対象：小学校全学年・中学校全学年  
 平泉小学校 273人（受診勧奨者：0人）  
 長島小学校 84人（受診勧奨者：0人）  
 平泉中学校 191人（受診勧奨者：1人）
- ⑥ 心臓検診 対象：小学1年生・中学1年生  
 平泉小学校 37人（受診勧奨者：0人）  
 長島小学校 14人（受診勧奨者：0人）  
 平泉中学校 64人（受診勧奨者：4人）
- ⑦ 脊柱側弯検診 対象：小学5年生・中学1年生・前回有所見者  
 平泉小学校 46人（受診勧奨者：2人）  
 長島小学校 13人（受診勧奨者：0人）  
 平泉中学校 64人（受診勧奨者：2人）
- ⑧ 貧血検査 対象：中学1年生  
 平泉中学校 60人（受診勧奨者：1人）
- ⑨ 生活習慣病予防検診 対象：小学4年生・中学1年生  
 平泉小学校 36人（受診勧奨者：9人）  
 長島小学校 17人（受診勧奨者：1人）  
 平泉中学校 60人（受診勧奨者：7人）

**【評価及び今後の方向性】**

学校医及び予防医学協会の実施のもと、適正な健康診断を行い疾病の早期発見や健康管理に取り組んだ。

また、前年度に引き続き学校歯科医及び保健所の協力のもとに、小学校全校児童において歯科検診2回目の実施と児童の歯に対する関心を高める活動を行った。次年度以降、町として歯科保健に対する方向性を定め、学校と連携して歯に対する意識向上を図りたい。

I. 学校教育(4. 健康の保持・増進)

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 健康・安全な生活を目指した指導</p>	<p>4) 就学援助対策</p> <p>経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童の保護者に対し必要な援助を行う。</p> <p>① 要保護世帯への医療費・修学旅行費扶助 →医療費 2名 修学旅行費 2名</p> <p>② 準要保護世帯への学用品費・修学旅行費・校外活動費・新入学児童生徒学用品費等・クラブ活動費・生徒会費・児童会費・PTA会費・医療費・給食費扶助</p> <p>学用品費 55名(小学校37名、中学校18名) 修学旅行費 7名(小学校7名、中学校0名) 校外活動費 29名(小学校18名、中学校11名) 新入学児童生徒学用品費 17名(小学校5名、中学校12名) クラブ活動費 18名(小学校0名、中学校18名) 生徒会費 18名(小学校0名、中学校18名) 児童会費 29名(小学校29名、中学校0名) PTA会費 55名(小学校36名、中学校19名) 医療費 0名 給食費 55名(小学校37名、中学校18名)</p> <p>6) 育英資金運営</p> <p>経済的な理由により修学困難な者に対し学資の貸与を行うことで、将来有能な人材の育成を図る。</p> <p>新規資金貸与者 1名(大学) 前年度からの継続貸与者 12名(大学、専門学校)</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>就学援助事業については、次年度の新入学生に対して入学前支給を行い、必要な経費を必要な時期に支給することができた。今後も国や近隣市町村の動向を確認しつつ、必要な対応を行う。</p> <p>育英資金の運営については、滞納者へ督促状の送付や電話等による連絡を行うことにより、滞納金の減額に努めた。貸付者へは、個々の状況に応じ適正な貸付を行った。今後は社会の情勢等を踏まえ事業の内容について検討を行っていく。</p>	

## Ⅱ. 社会教育（1.生涯学習環境の整備）

具体的施策	事業の内容
(1)生涯学習推進体制の整備	<p>1) 生涯学習町民のつどいの開催</p> <p>町民の生涯学習への意欲向上と、豊かな人間性を育み日常生活に生きがいを感じながら自己実現に向けた学習への取り組みを推進するため、「生涯学習町民のつどい」を開催した。</p> <p>○開催日 平成31年2月17日（日）13:00～16:00</p> <p>○会場 平泉小学校体育館</p> <p>○参加者 町民等300人</p> <p>○内容 成果発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平泉幼稚園、保育所 “謡” 曲名：「鞍馬天狗」、「老松」</li> <li>・長島保育所 “鼓隊演奏” 曲名：「めざせポケモンマスター」、「愛は勝つ」</li> <li>・人形劇どんぐり “ジャンボ紙芝居” 演目：「炭焼藤太」</li> <li>・平泉町教育委員会 事業発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>①過去に学び、今を見つめ、未来を考える全世代型「平泉学」 平泉町教育委員会 教育長 岩渕 実</li> <li>②世界遺産・地域学習「平泉学」の取り組みについて ～平泉に愛着をもち、誇りをもって未来を創る子どもたちに～ 平泉小学校 教諭 岩渕 晃児</li> <li>③黄金平泉情報発信プロジェクトについて 平泉町教育委員会 社会教育主事 安倍 雅人 平泉小学校 5年 千葉 結未 長島小学校 6年 山平 葉奈</li> </ul> </li> <li>・郷土芸能体験講座「達谷毘沙門神楽の取り組み」 演目：「御神楽」、「くずし舞」 講座受講生、達谷毘沙門神楽</li> <li>・長島小学校 マーチング 曲名：「ディズニーパレードシークエンス」、 「ブリッツクリーグバップ」</li> <li>・平泉小学校 独唱 一関地方児童生徒独唱大会出場 <ul style="list-style-type: none"> <li>①優秀賞 3年 栗生澤 夏央 伴奏 6年 栗生澤 風紗 曲名：「とどけようこのゆめを」</li> <li>②優秀賞 5年 佐藤 真鈴 伴奏 6年 栗生澤 風紗 曲名：「南風にのって」</li> </ul> </li> </ul>

	<p>・平泉中学校 2年  クラリネット四重奏 曲名:「アディオス・ニノーノ」  女声合唱 曲名:「あんたがたどこさ」  男声合唱 曲名:「八木節」</p> <p>2) 第45回ひらいずみ芸術文化祭  町民が丹精込めて作り上げた芸術作品の展示や各社会教育団体の活動を紹介しながら、町民の芸術及び創作活動の意欲醸成と振興を図った。</p> <p>○開催日 平成30年11月3日(土)～11月4日(日)  ○会場 平泉小学校・町立幼稚園・平泉保育所  ○来場者 2,500人  ○内容 園児・児童・生徒作品展、民芸展、世界遺産コーナー  華道展、保健センターコーナー、イベントコーナー(ほっこり～まったり～コンサート、絵本読み聞かせライブ、サイエンスショーと親子工作教室、手作り体験村 in 平泉)ほか</p>
--	---

**【評価及び今後の方向性】**

生涯学習町民つどいでは、町民がこれまで取り組んできた学習活動の成果を発表し合いながら、それぞれの活動の成果を理解し、これからの学習意欲の向上を図ることができた。また、今回、内容の見直しを行い、講演会をなくし、町内児童・生徒、活動団体等の成果発表や実践活動発表を主として実施したところ参加目標の300人を達成することができた。次年度以降も様々な活動や成果の発表の場を提供することとし、多くの町民にそれを知るきっかけを与えることで、平泉の生涯学習の更なる推進を図っていきたい。

芸術文化祭では、町民が公民館活動などで取り組んだ創作活動などの展示を行いながら、町民の情操教育を図り、交流の場をつくることができた。体験メニューについては、親子で楽しめる内容を充実させ、来場者の獲得につなげた。課題としては、事業内容のマンネリ化が挙げられることから、イベントメニューやタイムスケジュールを少しずつ見直すなど、新たな展開を検討していきたい。また、同日に観自在王院跡で開催された町産業まつりとの連携により、文化祭会場にも多くの町民が来場し、作品を鑑賞してもらうことができた。

## II. 社会教育 (2. 家庭教育の振興)

具体的施策	事業の内容
(1) 家庭教育の充実	<p>1) 家庭教育学級</p> <p>発達段階に応じた家庭教育のあり方や家庭の役割などを学習する機会として、各校において家庭教育学級を開催し、延べ484人の参加があった。</p> <p>平泉小学校(1回) 保護者等40人・児童36人  長島小学校(2回) 保護者等184人・児童84人  平泉中学校(2回) 保護者等20人・生徒120人</p> <p>2) 幼児学級</p> <p>幼児に対するしつけや遊び方について学習する機会として、各幼稚園、保育所において幼児学級を開催し、延べ294人の参加があった。</p> <p>二葉さらり園(3回) 保護者等98人・幼児40人  長島保育所(2回) 保護者等86人・幼児70人</p> <p>○家庭教育学級・幼児学級参加者数(新平泉町総合計画目標指標)</p> <p>平成32年度目標 1,300人  *平成30年度実績 778人  *平成29年度実績 674人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>町内5つの施設において幼児及び児童生徒の年齢や学年に応じた事業を行い、子育てやしつけなど家庭教育の仕方などを学習し、意識の高揚を図ることができた。</p> <p>また、各校等の協力により、参観日等に併せるなど参加しやすいよう工夫して保護者等への参加周知に努め、参加者数の増加が図られた。</p> <p>この家庭教育学級は、保護者どうしの情報交換や家庭教育の仕方などを学ぶ機会として有効であることから、今後も引き続き各実施施設と連携しながら、各校3回の実施を目標に内容の充実を図って行く。</p>	

## II. 社会教育 (3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進)

具体的施策	事業の内容
(1) 青少年教育(事務局実施分)	<p>1) 放課後子ども教室</p> <p>放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用して、地域ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの遊び場を確保し、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの子どもの居場所づくりを行った。</p> <p>○教室数 3教室</p> <p>・「平泉わくわくフィールド」(平泉小)</p> <p>毎週月・水・木曜日など年間49日</p> <p>児童 延べ 3,511人  学習アドバイザー 延べ 108人</p>

ボランティア 延べ 195 人

・「長島わくわくフィールド」(長島小)  
毎週月・木曜日など年間 49 日

児童 延べ 2,665 人

学習アドバイザー 延べ 46 人

ボランティア 延べ 97 人

・「平泉中わくわくフィールド」(平泉中)  
土曜学習「神楽体験講座」  
町内小学校高学年から中学生を対象に、地域の伝統芸能を学ぶ郷土芸能体験講座「達谷窟毘沙門神楽」を実施

受講生 平泉中 6 人、平泉小 4 人

学習アドバイザー 12 人

参加者延べ 135 人

※特別出演

4/29「達谷窟春季大祭観櫻會」  
9/16「平泉神楽祭」  
10/28「中学校文化祭」  
11/4「ひらいずみ産業まつり」  
1/26「平泉スピリットスピーチコンテスト」  
2/17「生涯学習町民のつどい」  
(文化行政の「芸術鑑賞機会の拡充」事業としても実施)

## 2) 学校支援地域本部事業

地域住民の協力(ボランティア)を得ながら、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、学校の要請に応えるさまざまな学校支援活動を行うことによって教員の負担を軽減し、子どもたちに向き合い、きめ細かな指導ができる時間の拡充を図った。

○実施学校数 3 学校(平泉小、長島小、平泉中)

○学習支援活動

- ・平泉小…本修理、読み聞かせ、マラソン大会補助、菊作り、生け花、草取り、登下校見守りなど  
→ボランティア 延べ回数 313 回、延べ人数 6,388 人
- ・長島小…ミシン指導、読み聞かせ、マラソン大会補助、楽器指導、生け花、草刈り、登下校見守りなど  
→ボランティア 延べ回数 266 回、延べ人数 3,364 人
- ・平泉中…よさこい指導、生け花、部活指導など  
→ボランティア 延べ回数 141 回、延べ人数 965 人

## 3) 教育振興運動

子ども、親、教師、地域、行政の 5 者が連携・役割分担しながら、地域教育力や学力の向上をめざし、家庭学習の充実、読書活動の推進、家庭教育の充実、あいさつ運動、平泉学への取り組み、情報メディアへの取り組み学校支援活動などに取り組んだ。

○平泉町教育振興運動推進協議会総会

日 時 平成 30 年 6 月 22 日（金）9：00～10：30  
場 所 平泉町役場 2 階 201 会議室  
出席者 委員 14 人、幹事・事務局 4 人 計 18 人  
内 容 平成 29 年度事業実績、平成 30 年度推進計画

○平泉町教育振興運動推進協議会幹事会

日 時 平成 30 年 6 月 11 日（月）、12 月 19 日（水）  
場 所 平泉町役場 2 階 201 会議室、3 階委員会室 2  
出席者 6/11 幹事 6 人、事務局 5 人 計 11 人  
12/19 幹事 6 人、事務局 5 人 計 11 人  
内 容 事業の進捗状況、今後の取り組みについて

○親子ふれあい教室

日 時 平成 30 年 11 月 3 日（土）  
平成 30 年 11 月 4 日（日）  
場 所 平泉町立幼稚園 園舎ホール  
参加者 親子等 計 254 人  
内 容 親子で楽しめるコンサート 吉野崇 50 人  
絵本読み聞かせライブ  
出演：オンサンデーズ 60 人  
折り紙教室  
講師：町立図書館職員 40 人  
サイエンスショーと親子工作教室  
講師：岩手大学理工学部 教授高木浩一さん 37 人  
親子手づくり体験教室 67 人  
夜光貝アクセサリ作り 講師 丸山聡子さん  
銅の加工体験 講師：鈴木正人さん  
パタパタおもちゃ作り体験 講師 表具工房オイカワ

○教育振興運動推進大会

開催日 平成 31 年 2 月 17 日（日）13:00～16:00  
会 場 平泉小学校体育館  
参加者 町民等 300 人

教育振興運動実践活動発表

「平泉中学校『教育振興運動』の取り組み」

発表者 平泉中学校 P T A 会長 岩淵良久さん

○情報誌の発行

教育振興運動情報誌「きょうしん」の発行（各 3,500 部）  
第 17 号（7/20 発行）、第 18 号（12/20 発行）  
第 19 号（3/13 発行）

○実践区活動

平泉小・長島小・平泉中の各実践区における「家庭学習の充実」  
「読書活動の推進」「平泉学」「家庭教育の充実」「あいさつ運動」  
「情報メディアに関する取組」などの取り組み

○地域学習（平泉学）への取り組み

子どもを中心に保護者、地域住民が一堂に会し、地域の歴史や文化などを学ぶ地域学習を行政区毎に開催

実施行政区数 21 行政区

参加者延べ 647 人（子ども 261 人、保護者 198 人、地域 188 人）

内容 地元歴史学習、地域風習「縄ない」体験、稲刈り体験、郷土料理はっと作り、郷土芸能体験、昔遊び他

#### 4) わくわく平泉学スクール

私たちが住む町「ひらいずみ」について、子ども達が郷土の歴史や文化、産業などを様々な角度から楽しく、わかりやすく学習する機会を提供するとともに、次代を担う子ども達の情操教育・郷土愛の醸成を図った。また、講師を町内から選定し、様々な分野における「ひらいずみ」の持つ魅力を子ども達に提供しながら、世代間交流につなげた。

平泉小学校	3 年生	歴史講話（現地見学）	50 人受講
	5 年生	写経・座禅体験	9 人受講
	4 年生	調べ学習「平泉の祭りについて」	41 人受講
長島小学校	5 年生	歴史講話（現地見学）	13 人受講
	6 年生	歴史講話（現地見学）	12 人受講
	4 年生	歴史講話・大文字計測	17 人受講
平泉中学校	1 年生	写経・座禅体験	64 人受講
	〃	拓本・土器洗浄体験	64 人受講
	3 年生	平泉ガイド体験	60 人受講

#### 5) 第 9 回世界遺産学習サミット in むなかた参加

町内小中学校の世界遺産学習への取り組みを紹介するため、本サミットに出席し全国に向け情報発信を行った。

期 日 平成 30 年 11 月 16 日（金）～18 日（日）

会 場 福岡県宗像市

参加者 発表者：教諭 1 名

#### 6) ジュニア平泉文化歴訪団

平泉町と歴史的つながりがある他市町村との交流事業。相互に自分たちのまちを訪れ、文化や歴史学習を行う。

（福島県国見町との交流事業）

○期 日 ① 7 月 14 日（土）、15（日）

② 9 月 23 日（日）

○場 所 ① 町役場、無量光院跡、道の駅、観自在王院跡ほか

② 福島県国見町

○参加者 ① 町内小学生 16 人

② 町内小学生 21 人

○内 容 ① 水かけ神輿への参加交流

② 義経まつりへの参加交流

#### 7) 黄金平泉情報発信プロジェクト

平泉縁の地、世界遺産関連地等を訪れ、児童の「平泉学習」及び「世

界遺産学習」を推進するとともに、訪問地での児童交流を通じて、他地域の地域学習の取り組みを学び、見分を広め、友好を深め、社会性を身に付けながら、平泉の価値・魅力を積極的に発信する力を養うことを目的にリーダー研修事業を実施。

○期 日 ①事前研修 7月22日(日)、27日(金)  
②本研修 8月1日(水)～4日(土) 3泊4日

○場 所 ①町役場  
②和歌山県田辺市、奈良県奈良市

○参加者 町内小学校5・6年生 15人

○内 容 ①事前研修  
参加者及び保護者向けガイダンス、オリエンテーション、世界遺産キャンドルづくり、訪問地学習、平泉PRパネル作成等  
②本研修  
歴史学習、世界遺産学習、地域学習、児童交流

#### 8) いわて希望塾への生徒派遣

全県で行う中学生リーダー研修に平泉中生徒を派遣し、積極的に岩手の復興や地域づくりを担おうとする心豊かで意欲に満ちた人材の育成を図った。

○期 日 11月23日(金)～11月25日(日) 2泊3日

○研修先 岩手県沿岸地域、岩手県立陸中海岸青少年の家

○参加者 平泉中生徒 1人(2年生)

○内 容 沿岸地域の現地見学、復興学習、グループディスカッション、コース別学習、青年サポーターとの交流会等

#### 【評価及び今後の方向性】

5者(子ども、親、教師、地域、行政)が互いに連携しながら教育振興運動や教育支援活動の実践活動に取り組み、子どもたちの教育課題を明確にしながら、その解決のための実践活動に連携しながら取り組むことができた。

今年度から小学校高学年を対象に「黄金平泉情報発信プロジェクト」新設。「地域学習」と「情報発信」をテーマとしたリーダー研修となっており、今回は和歌山県田辺市を訪れ、児童交流を行った。

その他、「ジュニア平泉文化歴訪団」や「わくわく平泉学スクール」、「地域学習」、「神楽体験講座」を中心に、子ども・親・地域が連携しながら「平泉学」への取り組みを充実することができた。

今後も、地域の教育課題を町全体で捉え、地域住民との連携により子どもの教育環境の整備、学力向上、地域をリードする人材の育成を図っていく。

## II. 社会教育 (3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進)

具体的施策	事業の内容
(1) 青少年教育 (公民館実施分)	<p>1) 親子ふれあい教室 親子で自然とのふれあいや体験をすることで、健全な子供の育成を図る。</p> <p>① 内 容     パタパタ屏風作り／イワナのつかみどり／ニュースポーツ／おやつ作り／親子遠足／キーホルダー作り</p> <p>② 実施回数   6回</p> <p>③ 参加者     延べ112人</p> <p>2) わんぱく塾 自然とのふれあい、集団活動を通して心身ともに健全な子供の育成を図る。</p> <p>① 内 容     クイズラリーと工作／キャンプ練習／キャンプ／イワナのつかみどり／遠足／クッキング／スケート</p> <p>② 実施回数   7回</p> <p>③ 参加者     延べ258人</p> <p>3) かるた教室 百人一首を通して日本古来の文化を学ぶとともに集中力を養う。</p> <p>① 内 容     小倉百人一首の基礎</p> <p>② 期 日     平成31年1月7日～9日(各3回)</p> <p>③ 場 所     平泉公民館及び長島分館</p> <p>④ 参加者     延べ133人</p> <p>4) 第44回新春かるた大会 「かるた教室」を通して学んだ成果の発表の場とする。</p> <p>① 期 日     平成31年2月11日</p> <p>② 場 所     芭蕉館(2階大広間)</p> <p>③ 参加者     26人</p> <p>5) ジュニアスキー&amp;スノーボード教室 ウインタースポーツを通して冬期における体力の向上を図る。</p> <p>① 期 日     平成31年1月5日、12日、19日(3回)</p> <p>② 場 所     岩手高原スノーパーク(雫石町)</p> <p>③ 参加者     延べ100人</p> <p>6) パソコンキッズスクール パソコンの使い方を覚える。</p> <p>① 内 容     文字入力／オリジナルTシャツ／うちわ作成</p> <p>② 期 日     平成30年7月27日、30日、31日(3回)</p> <p>③ 参加者     延べ57人</p> <p>7) 少年少女将棋教室 将棋の基本や考える力を養う。</p> <p>① 期 日     平成31年3月25日～28日(4回)</p> <p>② 参加者     延べ108人</p> <p>8) 親子英会話教室</p>

	<p>親子が英語で遊びながら楽しく外国語に親しむ。</p> <p>① 期 日 平成 30 年 8 月 28 日～9 月 25 日（5 回）</p> <p>② 参加者 延べ 45 人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>親子での共同体験や学校や家庭では普段体験できないような内容を中心に、季節なども考慮した体験活動等を毎年実施しており、本年度も好評を得た。</p> <p>今後も、児童生徒の自発的な活動や集団行動などを学ぶ場として各種事業を実施していく。</p> <p>また、20 代から 30 代の若い年代を対象とした講座については、過去に参加者が減少し廃止となったものの、また新たな講座の開設に向け検討を行っていく。</p>	

## Ⅱ．社会教育（3．生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(2) 女性教育	<p>1) 移動女性学級</p> <p>平泉地区及び長島地区婦人会の会員を対象に研修を行うとともに会員相互の親睦を図る。</p> <p>① 内 容 町外研修（手作り体験・施設見学）</p> <p>② 期 日 平成 30 年 8 月 19 日</p> <p>③ 場 所 花巻市（ガラス体験工房森のくに）</p> <p>④ 参加者 46 人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>花巻市のガラス体験工房を見学し、アクセサリーなどガラス細工の手作り体験を行い、参加者同士の交流を深めることができた。</p> <p>今後も、女性を対象とした学習や親睦を図るため継続して実施する。</p>	

## Ⅱ．社会教育（3．生涯の各時期における社会教育活動の推進）

具体的施策	事業の内容
(3) 一般成人教育	<p>1) 歴史教室</p> <p>平泉の歴史や文化などを学習する機会として、文化遺産センターを会場に講演等を開催。</p> <p><b>【第 1 回】</b></p> <p>① 内 容 講演「平泉の文化財 その価値」</p> <p>② 講 師 元県文化財保護審議会議長 金野静一氏</p> <p>③ 期 日 平成 30 年 12 月 5 日</p> <p>④ 参加者 約 90 人</p> <p><b>【第 2 回】</b></p>

	<p>① 内 容 講演「今あらためて問う文化財とは何か」</p> <p>② 講 師 奈良女子大学教授 小川伸彦氏</p> <p>③ 期 日 平成 31 年 1 月 15 日</p> <p>④ 参加者 約 65 人</p> <p><b>【第 3 回】</b></p> <p>① 内 容 シンポジウム「菅江真澄と平泉」</p> <p>② 講 師 東京学芸大学教授 石井正己氏 ほか</p> <p>③ 期 日 平成 31 年 2 月 24 日</p> <p>④ 参加者 約 140 人</p> <p><b>【第 4 回】</b></p> <p>① 内 容 講演「輝け平泉の文化財」</p> <p>② 講 師 文化遺産センター館長 千葉信胤氏</p> <p>③ 期 日 平成 31 年 3 月 6 日</p> <p>④ 参加者 約 60 人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>平泉の歴史に関する専門家を講師に招いて講演会やシンポジウムを行い、町内外から多数の参加をいただき好評を得た。</p> <p>今後も、平泉の歴史や文化について学習する機会を提供し、内容の充実を図りながら継続して実施する。</p>	

## II. 社会教育 (3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進)

具体的施策	事業の内容
(4) 高齢者教育	<p>1) 東夷大学・東稲大学</p> <p>高齢者が健康で生きがいに満ちた生活を送るための学習の場を提供する。</p> <p>① 内 容 講話（平泉の歴史文化／健康（玄米ニギニギ体操）／町の財政／景観まちづくり） 町外研修（碧祥寺住職講話／博物館見学）</p> <p>② 実施回数 各 8 回</p> <p>③ 参加者 東夷大学 延べ 400 人 東稲大学 延べ 243 人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>各大学を通して趣味活動のきっかけづくりや参加者同士の交流が図られたが、講話が中心となり難しい話が増えたことから参加者が減少した。</p> <p>今後は、アンケート結果等を参考にしながら、興味のある内容を検討し継続して実施していく。</p>	

## II. 社会教育 (3. 生涯の各時期における社会教育活動の推進)

具体的施策	事業の内容
(5) 町民講座	<p>1) 登山教室            登山の基礎を学び自然に親しみながら健康の増進を図る。</p> <p>① 期 日 平成 30 年 5 月～9 月 (2 回)</p> <p>② 場 所 5/25 徳仙丈山 (気仙沼市)            9/28 栗駒山 (宮城県栗原市)            ※7/5 岩手山麓 (盛岡市) は荒天により中止</p> <p>③ 参加者 延べ 27 人</p> <p>2) ガーデニング教室            寄せ植え講習や見学を行いガーデニングの知識を身につける。</p> <p>① 期 日 平成 30 年 4 月～6 月 (3 回)</p> <p>② 場 所 4/27 館ヶ森アーク牧場 (一関市)            5/19 花工房らら倶楽部 (雫石町)            6/23 イーサゴナーセリー&amp;ガーデン (花巻市)</p> <p>③ 参加者 延べ 53 人</p> <p>3) 地元のパソコン教室            入門編、ワード編、画像編、エクセル編、年賀状編を開催し、パソコンやインターネットに係る基礎知識を習得する。</p> <p>① 期 日 平成 30 年 5 月～12 月 (28 回)</p> <p>② 場 所 平泉町公民館 I T 室</p> <p>③ 参加者 延べ 203 人</p> <p>4) 平泉ウォーキング教室            ウォーキングをしながら併せてその地域の歴史や山野草の学習を行う。</p> <p>① 期 日 平成 30 年 5 月～10 月 (5 回)</p> <p>② 場 所 【歴史編 3 回】            一関市 (石蔵山、自鏡山)・善阿弥地区            【山野草編 2 回】            東稲山・奥州市衣川</p> <p>③ 参加者 延べ 73 人</p> <p>5) 美文字教室            ボールペンや筆ペンでのペン習字を習得する。</p> <p>① 期 日 平成 30 年 9 月 (5 回)</p> <p>② 場 所 平泉町公民館</p> <p>③ 参加者 延べ 89 人</p> <p>6) チャレンジクッキング教室            各分野の料理人を講師に専門的な調理方法を学ぶ。</p> <p>① 内 容 和食、洋食、中華、洋菓子</p> <p>② 期 日 平成 30 年 9 月～平成 31 年 2 月 (6 回)</p> <p>③ 場 所 平泉町公民館</p> <p>④ 参加者 延べ 83 人</p>

	<p>7) 謡曲教室 昔から祝いの席などでうたわれる謡曲を習得し、日本古来の風習なども学習しながら後世への伝承を図る。</p> <p>① 期 日 平成 31 年 1 月 (5 回) ② 場 所 平泉町公民館 ③ 参加者 延べ 39 人</p> <p>8) 創作教室 (クラフト) ① 期 日 平成 30 年 7 月 (5 回) ② 場 所 平泉町公民館 ③ 参加者 延べ 50 人</p> <p>9) 創作教室 (和紙ランプシェード) ① 期 日 平成 30 年 9 月 (4 回) ② 場 所 平泉町公民館 ③ 参加者 延べ 58 人</p> <p>10) 創作教室 (プリザーブドフラワー&amp;アートフラワー) ① 期 日 平成 30 年 8 月～10 月 (3 回) ② 場 所 平泉町公民館 ③ 参加者 延べ 54 人</p> <p>11) 創作教室 (切り絵) ① 期 日 平成 30 年 10 月 (4 回) ② 場 所 平泉町公民館 ③ 参加者 延べ 33 人</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>前年度の実績及びアンケート等により講座の改廃を行い、フラダンス教室、ゆかた着付け教室、英会話教室、俳句教室は申込者少数のため廃止とし、新たに美文字教室を追加して実施した。</p> <p>また、荒天により中止した教室もあり、延べ参加者は前年度 839 人に対し今年度は 762 人と 77 人減となった。</p> <p>今後も町民ニーズの把握に努め、講座の改廃や内容の見直しを行いながらより関心を持てるような講座の実施を図っていく。</p>	

## II. 社会教育 (4. 社会教育推進体制の充実)

具体的施策	事業の内容
(1) 指導体制の充実	<p>1) 社会教育委員会議</p> <p>社会教育に関する事業計画、事業実績等の審議を行うため、社会教育委員を委嘱し、会議を開催した。</p> <p>○委員数 10人</p> <p>○会議数 3回</p> <p>第1回 平成30年 5月29日(火)</p> <p>第2回 平成30年10月26日(金)</p> <p>第3回 平成31年 3月19日(火)</p> <p>○内 容 教育委員会事務局(社会教育係・社会体育係)及び公民館、図書館、世界遺産推進室、文化遺産センターに関わる事業計画及び事業実績の審議、平泉の社会教育について等</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>社会教育の各事業に対し活発な審議が行われ、各事業の進捗状況の把握や今後の事業展開などの意見交換がなされ、各委員からの意見等に基づき事業を精査し、年度内の事業に反映させられるよう努めた。</p> <p>また、「平泉の社会教育について」を協議事項とし、社会教育委員から自由に意見を出し合い、討論する時間を設けた。今回は、平泉の社会教育事業の展望として、高齢化社会や人口減少社会が進行する中で、今後、地域づくりを担っていく年齢層に焦点を当てた事業どう展開していくかについて話し合い、次年度も引き続き協議を進めていくこととした。</p>	

## II. 社会教育 (4. 社会教育推進体制の充実)

具体的施策	事業の内容														
(2) 社会教育関連施設の整備と利用促進	<p>1) 図書館運営の方針・運営内容</p> <p>住民の多様な学習ニーズに対応するため、必要な資料等の収集・活用、整理保存を行い、情報センターとしての役割を果たすとともに、利用しやすい図書館運営と利用者サービスの充実を図った。</p> <p>①多様な情報提供と環境整備</p> <table data-bbox="619 1648 1321 1951"> <tr> <td>入館者</td> <td>15,895人(対前年度 117%)</td> </tr> <tr> <td>貸出者</td> <td>6,944人( " 117%)</td> </tr> <tr> <td>図書貸出冊数</td> <td>23,797冊( " 110%)</td> </tr> <tr> <td>リクエスト冊数</td> <td>45冊( " 79%)</td> </tr> <tr> <td>レファレンス件数</td> <td>52件( " 110%)</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>28,400冊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち年間購入冊数 779冊</td> </tr> </table> <p>開館時間延長(17時～19時)入館者数 1日平均 8.6人(同前年度 10.9人)</p>	入館者	15,895人(対前年度 117%)	貸出者	6,944人( " 117%)	図書貸出冊数	23,797冊( " 110%)	リクエスト冊数	45冊( " 79%)	レファレンス件数	52件( " 110%)	蔵書冊数	28,400冊		うち年間購入冊数 779冊
入館者	15,895人(対前年度 117%)														
貸出者	6,944人( " 117%)														
図書貸出冊数	23,797冊( " 110%)														
リクエスト冊数	45冊( " 79%)														
レファレンス件数	52件( " 110%)														
蔵書冊数	28,400冊														
	うち年間購入冊数 779冊														

	<p>図書貸出システム登録者 2,180 人</p> <p>②地域支援課題の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回図書の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>町内 1 箇所×2 回×30 冊=60 冊</li> <li>町内 2 箇所×4 回×30 冊=240 冊</li> <li>町内 1 花所×4 回×90 冊=360 冊</li> </ul> </li> <li>・ブックスタート支援（9 カ月児健診受診親子対象） 保健センター「ピヨピヨ広場」で絵本の読み聞かせ</li> </ul> <p>③幼児、児童、生徒等の学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生図書館職場体験受入れ</li> <li>・図書館主催お話し会開催（11 回） 参加者 209 人</li> <li>・文に親しむ講座 参加者 32 人</li> </ul> <p>④他図書館及び関係機関との連携・協力</p> <p>他公立図書館との相互貸借、学校図書館への図書団体貸出しの実施</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>年間入館者数は前年度より 2,284 人増、全体的な貸出し冊数も 2,142 人増と大幅に増加した。多くの方々に図書館を利用してもらうための取り組みとして、毎月の企画展を P R する「暮らしの泉」を発行した。町民からの評判も大変よく、「暮らしの泉」発行後の企画展の貸出実績は昨年度を上回った。また、教育振興運動のノーメディアデーの推進を目的に各小中学校児童・生徒とその保護者向けにも企画展を P R する文書を配布した。企画展ごとにテーマに応じた本の情報を提供し、町民に知ってもらうことで、利用促進につながったと考えられる。今後も継続的に取り組んでいきたい。図書購入については、利用者のニーズや傾向を勘案しながら、幅広いジャンルや世代に応じた蔵書を購入していく。管内は建物が古く蔵書スペースが限られていることから、更に厳選した選書を行いながら、学習施設として整備充実も図る必要がある。図書館が生涯学習の拠点として、また、町民の文化・学習施設としてより利用しやすい環境の整備に努めていく。</p>	

## II. 社会教育 （4. 社会教育推進体制の充実）

具体的施策	事業の内容
(3) 社会教育団体援助	<p>1) ゆうゆう学びランド事業</p> <p>各地区の地域活動や学習意欲の増進を図るため、ゆうゆう学びランド事業として、地区公民館が行う地域学習等に要する講師謝金の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施地区 11 行政区（延べ 16 回）</li> <li>② 実施内容 制作活動（オイルフラワー、手編み帽子、エプロン、グローブなど）／ゆべし作り／しめ縄作り／健康づくり教室／生け花教室／歴史講演など</li> <li>③ 助成金額 計 105,000 円</li> <li>④ 参加者 延べ 303 人</li> </ul>

**【評価及び今後の方向性】**

全地区公民館がそれぞれ2回以上の実施を目標としているが、約半数の11地区（延べ16回）の実施にとどまった。

5月の地区公民館連絡協議会総会において各地区公民館長に周知をしているが、未実施地区には個別に声掛けをするなどし、全地区の実施に向け引き続き地区公民館活動への支援を図っていく。

**Ⅱ. 社会教育 （4. 社会教育推進体制の充実）**

具体的施策	事業の内容
(3) 社会教育団体援助	2) 補助金の交付 社会教育団体の活動の活発化を図るため、補助金を交付した。 ①平泉町地域婦人団体協議会活動費補助金 70,000円 ②平泉町芸術文化協会活動費補助金 100,000円 ③平泉ユネスコ協会活動費補助金 80,000円 ④父母と教師の集い開催事業費補助金 120,000円 ⑤平泉町芸術文化祭実行委員会活動補助金 170,000円 ⑥教育振興運動実践区活動費補助金 60,000円
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 各社会教育団体の主体的な活動を促し、活動の活発化を図ることができた。 町の社会教育を振興するにあたり、社会教育団体の活動の活性化は不可欠であり、補助金交付の適正化を図りつつ、今後も活動を支援していく必要がある。	

### Ⅲ.文化行政（1.文化芸術の振興）

具体的施策	事業の内容
(1)創作発表機会の 拡充	1) 町芸術文化協会舞台部門発表会 日時 平成 31 年 2 月 16 日 会場 平泉小学校体育館 内容 謡曲、詩吟、舞踊、和太鼓、民謡、神楽団体の発表など 入場者数 249 名  2) いわい地方美術展への作品の出品 日時 平成 30 年 11 月 17 日～18 日 会場 長島体育館 その他 出展数 43 点  3) 各種サークル、団体への会場の提供 町内の各種芸術文化団体が活動することができるよう活動・発表の場の提供と支援を行った。 ・4 月 22 日 茶道、お琴（文化遺産センター） ・11 月 18 日 茶道（長島公民館） ・2 月 3 日 茶道、お琴（文化遺産センター）
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 優れた芸術文化団体が活動することができる鑑賞の機会の提供と、各団体が継続的に活動出来るよう発表・活動の場の支援に努めた。 今後も、町民の自主的な活動を支援していく。	

### Ⅲ.文化行政（1.文化芸術の振興）

具体的施策	事業の内容
(2)芸術鑑賞機会の 拡充	1) ひらいずみ郷土芸能祭神楽大会 伝承されている伝統文化の継承のため、神楽大会を開催した。 日時 平成 30 年 9 月 16 日 会場 平泉文化遺産センター 野外ステージ 内容 高千穂神楽（宮崎県）、早池峰岳神楽、南部神楽 入場者数 450 名
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 神楽などの伝統文化は、平泉町の歴史や文化、風土を町内外に発信する上で大きな役割を担っており、今後も、後継者育成活動など後世に伝統芸能を伝えていく環境整備に努める必要がある。	

### Ⅲ.文化行政 (1.文化芸術の振興)

具体的施策	事業の内容
(2) 芸術鑑賞機 会の拡充	2) 青少年劇場の開催 児童・生徒に優れた芸術の鑑賞を通して、心豊かな情操と健全育 成を図った。 ○期 日 平成 30 年年 6 月 28 日 (木) ○会 場 平泉小学校体育館 ○参加者 町内小学 5・6 年生、中学 1 年生 計 191 人 ○内 容 ワールド 「ALOHHA!フラ」 3) 小・中学生郷土芸能体験講座 <b>Ⅱ.社会教育</b> (3.生涯の各時期における社会教育活動の推進) 1) 放課後子ども教室 土曜学習「神楽体験講座」として評価
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 小・中学生を対象にした芸術鑑賞は、日常では鑑賞することが出来ない専門家によ る優れた舞台芸術を肌で感じる事ができた良い機会となった。今後も、児童・生徒 の情操教育の一環として事業を継続実施していく。	

### Ⅲ.文化行政 (1.文化芸術の振興)

具体的施策	事業の内容
(3)芸術文化団体の 育成	1) 町芸術文化協会活動支援 総会、役員会、各種発表会の活動支援を行った。
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 各種芸術文化団体が自主的・継続的に活動することができるよう活動・発表の場の 提供に努めた。 引き続き、団体の育成支援に努める。	

### Ⅲ.文化行政 (2.文化財の保護と活用)

具体的施策	事業の内容												
(1)文化財の保護管 理	1) 有形文化財の調査 ①町指定文化財 町指定文化財の所有者等が行う維持管理又は修理に要する費 用に対し補助金を交付した。 交付件数 2 件 補助金額 383,265 円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>補助金額(円)</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>エドヒガン(ヒガンサクラ)</td> <td>216,000</td> <td>長島字月館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>モミ</td> <td>167,265</td> <td>平泉字衣関</td> </tr> </tbody> </table> ②木造不動明王坐像		名 称	補助金額(円)	所在地	1	エドヒガン(ヒガンサクラ)	216,000	長島字月館	2	モミ	167,265	平泉字衣関
	名 称	補助金額(円)	所在地										
1	エドヒガン(ヒガンサクラ)	216,000	長島字月館										
2	モミ	167,265	平泉字衣関										

	<p>県指定文化財「木造不動明王坐像」（所有：達谷西光寺）の解体修理を行う。</p> <p>実施主体：達谷西光寺 実施期間：平成 30 年度～令和 4 年度</p> <p>2) 観自在王院跡維持管理… 4 月～11 月 作業員を雇用し、維持管理に努めた。</p> <p>3) 柳之御所跡維持管理… 6 月～11 月 岩手県事業を 13 区が受託し実施した。</p> <p>4) 無量光院跡維持管理（町内史跡地）… 4 月～11 月 平泉町シルバー人材センターに委託し実施した。</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>町指定文化財の保護・保存のため、町補助金の活用により適切な維持管理に努めた。</p> <p>町内史跡地の環境整備を行い、文化財の保存・活用のため、より良い環境の維持に努めた。</p> <p>今後も、後世に伝えていくため、環境整備に努めていく。</p>	

### Ⅲ. 文化行政 （ 2. 文化財の保護と活用 ）

具体的施策	事業の内容
<p>(2) 埋蔵文化財の保護</p>	<p>1) 埋蔵文化財緊急発掘調査 遺跡内における建設工事や宅地開発等について、関係機関の協力を頂きながら、埋蔵文化財の保護に努めた。</p> <p>①発掘調査（16件） 遺跡内での個人住宅等の建築に先立ち、発掘調査を実施し記録保存を図った。</p> <p>②工事立会（51件） 遺跡内での建築や切り土・盛り土の工事の際に、文化財保護の観点から施工時に工事立会を行った。</p> <p>2) 無量光院跡内容確認調査・整備 特別史跡無量光院跡の史跡整備に向けて、次の事業を行った。</p> <p>①内容確認調査 無量光院跡東側において、無量光院以前の石敷及び築地塀を確認した。 期間：平成 30 年 7 月～10 月 面積：200 m<sup>2</sup></p> <p>②復元整備 池北西側池底と護岸及び東側土塁先端部の整備</p> <p>3) 中尊寺跡内容確認調査 中尊寺大池跡の大池跡西側を対象として、内容確認調査を実施した。その結果、礎石建物跡の一部とみられる遺構を確認し、か</p>

	<p>わらけ、国産陶器、瓦等の遺物が出土した。</p> <p>期間：平成 30 年 8 月～10 月</p> <p>面積：94 m<sup>2</sup></p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>発掘調査の実施により、適切な遺跡の保護措置をとり、埋蔵文化財と開発事業との調和が図ることができた。</p> <p>無量光院跡や中尊寺大池跡の調査では、史跡の全容解明に向けた貴重な資料を得ることが出来た。</p> <p>引き続き、遺跡の保護、復元整備に全力を傾けていく。</p>	

### Ⅲ. 文化行政（ 2. 文化財の保護と活用 ）

具体的施策	事業の内容
(3)文化財の公開・活用	<p>1) 発掘資料の収蔵管理</p> <p>前年度に実施した発掘調査についての室内整理を行い、調査で得た遺跡の調査図面、記録写真、出土品を整理し、資料として収蔵した。</p> <p>2) 発掘調査出土品の展示</p> <p>無量光院跡からの出土品「擦文土器」を文化遺産センターで特別展示し、来館者へ公開した。</p> <p>※擦文土器…8～13世紀頃、北海道を中心に製作・使用された土器</p> <p>3) 現地説明会、遺跡報告会の開催</p> <p>発掘成果を分かりやすく公表するため、現地説明会と町内遺跡発掘調査報告会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無量光院跡第 40 次現地説明会 日時：平成 30 年 9 月 29 日 参加者：200 名</li> <li>・祇園 I 遺跡第 4 次現地説明会 日時：平成 31 年 3 月 9 日 参加者：60 名</li> <li>・町内遺跡発掘調査報告会 日時：平成 31 年 3 月 9 日 参加者：60 名 会場：平泉文化遺産センター</li> </ul>

**【評価及び今後の方向性】**

発掘調査により出土した資料を整理して、記録類を適切に保管した。また、無量光院跡からの出土品「擦文土器」を展示・公開し、文化財に対する知識と理解を深めた。

発掘調査の成果を分かりやすく公表するため、現地説明会と遺跡報告会を開催し、文化財の保護と愛護思想の普及啓発に努めた。

また、最新の出土品を特別展示するなど、町の歴史・文化への理解を深め、普及啓発に努めた。

引き続き、公開活用を行い、文化財保護について理解を図っていく。

### Ⅲ. 文化行政（ 2. 文化財の保護と活用 ）

具体的施策	事業の内容																																																								
(3) 文化財の公開・活用	<p>4) 平泉文化遺産センターの利用促進</p> <p>①平泉文化遺産センターの入館者実績</p> <p>平成30年度実績は利用者38,537人で平成29年度に比べ1,383人減少した。</p> <table border="1" data-bbox="564 465 1370 1167"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>展示室 観覧者数(人)</th> <th>施設利用 者数(人)</th> <th>利用者 合計(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>2,586</td><td>309</td><td>2,895</td></tr> <tr><td>5月</td><td>4,217</td><td>106</td><td>4,323</td></tr> <tr><td>6月</td><td>3,709</td><td>256</td><td>3,965</td></tr> <tr><td>7月</td><td>3,017</td><td>187</td><td>3,204</td></tr> <tr><td>8月</td><td>5,806</td><td>410</td><td>6,216</td></tr> <tr><td>9月</td><td>4,036</td><td>360</td><td>4,396</td></tr> <tr><td>10月</td><td>3,426</td><td>768</td><td>4,194</td></tr> <tr><td>11月</td><td>2,596</td><td>192</td><td>2,788</td></tr> <tr><td>12月</td><td>1,143</td><td>412</td><td>1,555</td></tr> <tr><td>1月</td><td>842</td><td>341</td><td>1,183</td></tr> <tr><td>2月</td><td>983</td><td>443</td><td>1,426</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1,885</td><td>507</td><td>2,392</td></tr> <tr><td>合計</td><td>34,246</td><td>4,291</td><td>38,537</td></tr> </tbody> </table> <p>②利用環境の整備</p> <p>ふれあいホールの音響装置の修繕を行った。</p>	月	展示室 観覧者数(人)	施設利用 者数(人)	利用者 合計(人)	4月	2,586	309	2,895	5月	4,217	106	4,323	6月	3,709	256	3,965	7月	3,017	187	3,204	8月	5,806	410	6,216	9月	4,036	360	4,396	10月	3,426	768	4,194	11月	2,596	192	2,788	12月	1,143	412	1,555	1月	842	341	1,183	2月	983	443	1,426	3月	1,885	507	2,392	合計	34,246	4,291	38,537
月	展示室 観覧者数(人)	施設利用 者数(人)	利用者 合計(人)																																																						
4月	2,586	309	2,895																																																						
5月	4,217	106	4,323																																																						
6月	3,709	256	3,965																																																						
7月	3,017	187	3,204																																																						
8月	5,806	410	6,216																																																						
9月	4,036	360	4,396																																																						
10月	3,426	768	4,194																																																						
11月	2,596	192	2,788																																																						
12月	1,143	412	1,555																																																						
1月	842	341	1,183																																																						
2月	983	443	1,426																																																						
3月	1,885	507	2,392																																																						
合計	34,246	4,291	38,537																																																						
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>入館者数については、特別展や企画展等の開催により、前年より若干増加した。</p> <p>また、ふれあいホールの音響装置の修繕を行い、より快適に利用できるよう施設環境の充実に努めた。</p>																																																									

### Ⅲ.文化行政 ( 3. 文化的環境の整備 )

具体的施策	事業の内容
<p>(1) 文化財愛護思想の普及</p> <p>(2) 推進体制の充実</p>	<p>1) 文化財愛護少年団活動支援 文化財を活用した体験学習や募金活動、宿泊研修の活動を通じて、文化財の保護と愛護思想の普及啓発に努めた。</p> <p>2) 平泉ユネスコ協会活動支援 平泉ユネスコ協会が行う活動を支援し、文化財の保護と愛護思想の普及啓発に努めた。</p> <p>3) 文化財防火訓練の実施 消防関係者、文化財関係者、教育関係者及び地域住民が協力して、実施した。 H31. 1. 27 開催 (中尊寺、毛越寺) ※第 64 回文化財防火デー関連事業</p> <p>1) 文化財調査委員の設置 文化財の保護、調査研究を進めるため、調査委員会議を開催し、有形文化財や埋蔵文化財発掘調査への指導を得ることができた。 第 1 回 H30. 10. 10 第 2 回 H31. 2. 25</p> <p>2) 岩手県史跡整備市町村協議会活動の実施 史跡等が所在する市町村で組織し、調査研究を行い、文化財の保存・活用に努めた。 ・ 岩手県史跡整備市町村協議会総会 H30. 6. 26 遠野市 ・ 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会及び研修会 H30. 7. 26～27 一関市 ・ 全国史跡等整備市町村協議会総会及び研修会 H30. 10. 3～5 山梨県甲府市 ・ 予算要求のための国会議員への陳情 H30. 11. 13 東京都 ・ 県内文化財担当者研修会 H30. 10. 18～19 一戸町 県内 31 市町村が加盟しており、国や県に対し、文化財関係予算の確保・要望活動を行っている。(事務局：平泉町)</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>町ユネスコ協会への活動支援や文化財防火訓練の実施により、平泉文化の理解を深めるとともに、世界遺産の拡張登録への機運醸成が図られた。</p> <p>文化財調査委員会議の開催、岩手県史跡整備市町村協議会活動により、文化財の保護、調査研究の促進が図られた。</p> <p>今後も、各種事業等を通じて、「平泉の文化遺産」の価値や理念の普及啓発に努めていく必要がある。</p>	

### Ⅲ.文化行政 (4. 世界遺産登録の推進)

具体的施策	事業の内容
(1) 世界遺産推進	<p>1) 世界遺産拡張登録の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県・一関市・奥州市によるワーキング（担当者会議）の開催</li> <li>・ 縣市町課室長会議の開催</li> <li>・ 第15回世界遺産拡張登録検討委員会 H31.3.23</li> <li>・ 岩手県世界遺産保存活用推進協議会議 H31.3.22</li> </ul> <p>2) 世界遺産学習の推進</p> <p>① 第19回世界遺産講演会</p> <p>日時 H30.12.9</p> <p>会場 平泉文化遺産センター</p> <p>内容 演題「世界遺産兄弟がもたらす相乗効果とは？」</p> <p>講師 小笠原村観光局 根岸康弘氏</p> <p>参加者数 55名</p> <p>② 「平泉・小笠原」企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平泉・小笠原パネル展</li> <li>期間 H30.5.17～22</li> <li>会場 東京都庁 1階ロビー</li> <li>・ 小笠原色いろ展</li> <li>期間 H30.7.7～8.6</li> <li>会場 平泉文化遺産センター</li> <li>・ 平泉・小笠原展</li> <li>期間 H30.8.6～14</li> <li>会場 東京都庁 観光情報センター</li> </ul> <p>③ 世界遺産拡張資産巡回バスの運行</p> <p>日時 H30.10.21</p> <p>コース (午前) 達谷窟－骨寺村荘園遺跡</p> <p>(午後) お大師様－白鳥館遺跡－長者ヶ原廃寺－柳之御所遺跡</p> <p>参加者数 15名</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>平泉の文化遺産の重要性の理解と、将来の世代に伝えていくため、各手段と連携を図りながら、世界遺産としての価値や理念の普及に努めた。</p> <p>今後も、各種事業を通じて、平泉文化の持つ魅力や価値を町内外の人に伝えていく必要がある。</p>	

Ⅲ.文化行政 (4. 世界遺産登録の推進)

具体的施策	事業の内容																																	
(2)世界遺産に係る普及啓発	<p>1) 広報・ホームページによる情報発信 町ホームページや町広報誌に掲載して、「平泉の文化遺産」の情報発信や普及啓発に努めた。</p> <p>2) 講座等の開催 ときめき世界遺産塾の開催 県南地域の小中学生を対象に、世界遺産についての学習を通して、平泉の文化遺産や郷土の歴史・文化について理解を深めた。延べ122名の参加</p> <table border="1" data-bbox="512 647 1426 972"> <thead> <tr> <th></th> <th>期日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>7/21</td> <td>開講式、中尊寺・毛越寺見学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8/6～7</td> <td>県外研修 青森県青森市</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/ 1</td> <td>砂鉄取り体験、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺見学</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/ 6</td> <td>稲刈り・餅つき体験、骨寺村荘園遺跡見学</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/28</td> <td>平安時代のお菓子作り体験</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17</td> <td>閉講式、活動記録の振り返り</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 平泉町世界遺産推進協議会の運営 H30年度会員数381人(町内外、個人・団体)</p> <table border="1" data-bbox="520 1106 1437 1473"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/5</td> <td>役員会</td> </tr> <tr> <td>6/26</td> <td>総会及び講演会</td> </tr> <tr> <td>11/29</td> <td>研修 大雄寺(南三陸町)、観音寺(気仙沼市)</td> </tr> <tr> <td>12/9</td> <td>第19回世界遺産講演会 講師：小笠原村観光局 根岸康弘氏</td> </tr> <tr> <td>1/26</td> <td>英語スピーチコンテスト(後援) 主催：ユネスコ世界遺産推進協議会</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 「平泉の文化遺産」価値の共有化の推進 ①平泉世界遺産の日「平和の祈り」 世界遺産平泉に込められた平和・平等の理念を世界に向けて発信する。 日 時：平成30年6月29日 会 場：観自在王院跡 内 容：町内僧侶による練行・法要 コーラス団体による合唱 平泉小学校、長島小学校による「平泉讃歌」合唱 世界平和メッセージ 参加者：250名</p>		期日	内 容	1	7/21	開講式、中尊寺・毛越寺見学	2	8/6～7	県外研修 青森県青森市	3	9/ 1	砂鉄取り体験、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺見学	4	10/ 6	稲刈り・餅つき体験、骨寺村荘園遺跡見学	5	10/28	平安時代のお菓子作り体験	6	11/17	閉講式、活動記録の振り返り	期日	内 容	6/5	役員会	6/26	総会及び講演会	11/29	研修 大雄寺(南三陸町)、観音寺(気仙沼市)	12/9	第19回世界遺産講演会 講師：小笠原村観光局 根岸康弘氏	1/26	英語スピーチコンテスト(後援) 主催：ユネスコ世界遺産推進協議会
	期日	内 容																																
1	7/21	開講式、中尊寺・毛越寺見学																																
2	8/6～7	県外研修 青森県青森市																																
3	9/ 1	砂鉄取り体験、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺見学																																
4	10/ 6	稲刈り・餅つき体験、骨寺村荘園遺跡見学																																
5	10/28	平安時代のお菓子作り体験																																
6	11/17	閉講式、活動記録の振り返り																																
期日	内 容																																	
6/5	役員会																																	
6/26	総会及び講演会																																	
11/29	研修 大雄寺(南三陸町)、観音寺(気仙沼市)																																	
12/9	第19回世界遺産講演会 講師：小笠原村観光局 根岸康弘氏																																	
1/26	英語スピーチコンテスト(後援) 主催：ユネスコ世界遺産推進協議会																																	

	<p>②環境整備の日</p> <p>平泉の景観を守るとともに、世界遺産のまちにふさわしい環境にするため、基準日を設定して、環境整備活動を実施した。（基準日：平成30年6月23日）</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>ときめき世界遺産塾講座等の各種講座を通じて、平泉の文化遺産や郷土の歴史・文化について理解を深めることができた。</p> <p>世界遺産登録から8年経過し、これまでの活動の検証を行い、今後の活動について見直しをする必要がある。</p>	

#### IV. 生涯スポーツ (1. スポーツ・レクリエーションの活性化)

具体的施策	事業の内容
(1) 生涯スポーツ推進体制の整備充実	1) スポーツ推進委員会議の開催 社会体育振興や各種スポーツ大会等について、会議を開催し協議を行った。 ① 4月19日 平成30年度社会体育事業について ② 5月23日 東北地区スポーツ推進委員研修会について ③ 7月19日 夏休み親子スポーツ大会について ④ 8月17日 壮年ソフトボール大会について ⑤ 11月14日 壮年ソフトボール大会の総括について ⑥ 3月18日 平成30年度生涯スポーツ事業報告について 2) 地区スポーツコーディネーター会議の開催 町と一体となって行政区のスポーツ・レクリエーション事業を円滑に進めるため会議を開催した。 ① 6月 5日 平成30年度社会体育事業計画
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 町内の関係者と事業を円滑に実施するため、連絡調整を綿密に行い、スポーツ・レクリエーション大会を行うことができた。 引き続き、関係者との十分な情報共有を図る必要がある。	

#### IV. 生涯スポーツ (1. スポーツ・レクリエーションの活性化)

具体的施策	事業の内容
(2) スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進	1) スポーツ推進委員関係 スポーツ推進委員を各種研修会へ派遣し、資質の向上を図った。 ① 一関地方スポーツ推進委員協議会総会 総会 2人 研修会 3人 ② 東北地区スポーツ推進委員研修会 講演、研修会 4人 2) 出前スポーツ教室での指導者の活用 出前スポーツ教室にスポーツ推進委員を派遣し、指導・助言を行った。
<b>【評価及び今後の方向性】</b> 各種研修会・講習会へスポーツ推進委員を派遣し資質の向上を図りながら、スポーツ教室等での的確な指導・助言を行った。 引き続き、各種研修会での資質の向上を図る必要がある。	

IV. 生涯スポーツ (1. スポーツ・レクリエーションの活性化)

具体的施策	事業の内容																																								
<p>(3) スポーツ・レクリエーション実践活動の促進</p>	<p>1) スポーツ・レクリエーション大会、教室            体育協会との連携事業であるふるさとオリンピック2018、各種スポーツ大会・教室等を展開し、数多くの町民の参加があった。</p> <p>○ふるさとオリンピック2018 (6種目)</p> <table border="0"> <tr> <td>①グラウンドゴルフ</td> <td>6月23日</td> <td>16行政区</td> <td>約70人</td> </tr> <tr> <td>②野球</td> <td>8月13日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>～15日</td> <td>16行政区</td> <td>約300人</td> </tr> <tr> <td>③ソフトテニス</td> <td>8月26日</td> <td>6行政区</td> <td>約40人</td> </tr> <tr> <td>④親子ピンポン</td> <td>11月11日</td> <td>6行政区</td> <td>約90人</td> </tr> <tr> <td>⑤壮年ソフトバレー</td> <td>11月25日</td> <td>6行政区</td> <td>約60人</td> </tr> <tr> <td>⑥フットサル</td> <td>1月6日</td> <td>6行政区</td> <td>約130人</td> </tr> </table> <p>○出前スポーツ教室            幼稚園保育所、町民等 年間20教室1,456人</p> <p>*町主催スポーツ教室参加者数            H29年度 1,909人、H30年度 1,380人(H32年度目標 2,050人)</p> <p>2) 大会支援事業            11月23日開催の日報駅伝大会を支援し、平泉中継所業務及び平泉地内コースにおける交通安全業務を行い運営に協力した。</p> <p>3) 夢の教室事業            夢先生(サッカーを含めた様々なスポーツ選手、OB/OG)の授業を通じ、「夢を持つこと」や「夢に向かって努力すること」の大切さを学ぶことで、児童一人ひとりに自己肯定感や好ましい人間関係を築ける協調性、基本的な道徳観が身につくように支援した。</p> <p>※日本サッカー協会「こころのプロジェクト夢の教室」を活用</p> <table border="0"> <tr> <td>6月13日</td> <td>長島小学校</td> <td>5年生</td> <td>参加児童13人</td> </tr> <tr> <td>6月14日</td> <td>平泉小学校</td> <td>5年生</td> <td>参加児童46人</td> </tr> <tr> <td>6月15日</td> <td>平泉中学校</td> <td>2年生</td> <td>参加生徒69人</td> </tr> </table>	①グラウンドゴルフ	6月23日	16行政区	約70人	②野球	8月13日				～15日	16行政区	約300人	③ソフトテニス	8月26日	6行政区	約40人	④親子ピンポン	11月11日	6行政区	約90人	⑤壮年ソフトバレー	11月25日	6行政区	約60人	⑥フットサル	1月6日	6行政区	約130人	6月13日	長島小学校	5年生	参加児童13人	6月14日	平泉小学校	5年生	参加児童46人	6月15日	平泉中学校	2年生	参加生徒69人
①グラウンドゴルフ	6月23日	16行政区	約70人																																						
②野球	8月13日																																								
	～15日	16行政区	約300人																																						
③ソフトテニス	8月26日	6行政区	約40人																																						
④親子ピンポン	11月11日	6行政区	約90人																																						
⑤壮年ソフトバレー	11月25日	6行政区	約60人																																						
⑥フットサル	1月6日	6行政区	約130人																																						
6月13日	長島小学校	5年生	参加児童13人																																						
6月14日	平泉小学校	5年生	参加児童46人																																						
6月15日	平泉中学校	2年生	参加生徒69人																																						
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b>            各種事業により継続的で自発的なスポーツ・レク活動の普及が図られた。「ふるさとオリンピック」については多くの町民の参加が得られるよう、体育協会と連携しながら引き続き検討していきたい。</p>																																									

#### IV. 生涯スポーツ (1. スポーツ・レクリエーションの活性化)

具体的施策	事業の内容
(4) スポーツ・レクリエーションの実践団体の育成	<p>1) 町体育協会の支援 スポーツ競技人口の拡大を促進するため、協会の組織強化を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金額 1,124,000 円</li> <li>・補助内容 ①各単位協会への活動費補助 ②県民体育大会参加旅費の補助 ③ふるさとオリンピア、町内大会の開催補助 ④栗登一平交流事業 平泉ウォーク</li> </ul> <p>2) 町スポーツ少年団本部の支援 指導者育成等を通してスポーツ少年団活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金額 540,000 円</li> <li>・補助内容 各単位スポーツ少年団への活動費補助等</li> </ul>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>競技力の向上に努めるとともに、青少年へのスポーツ振興や心身の健全育成を図るため、体育協会、スポーツ少年団への支援を継続して行った。</p> <p>町の財政状況を勘案しつつ、各団体が活発に活動できるよう引き続き支援を継続していくとともに、併せて各団体の組織強化を検討していく必要がある。</p>	

#### IV. 生涯スポーツ (1. スポーツ・レクリエーションの活性化)

具体的施策	事業の内容
(5) 広報活動の充実	<p>1) 町広報を通じた体育関係行事の周知 毎月発行の町広報のスポーツコーナーで各種大会結果や、大会案内を掲載した。</p> <p>2) インターネットを活用した事業紹介 出前スポーツ教室事業のメニューや活動内容を掲載するなど、町民へスポーツに関する情報提供を行った。</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>広報ひらいずみやインターネット等の広報活動を通じ、町民のスポーツ活動に対する意識の啓発、参加促進に努めた。</p> <p>広報の記事内容の充実化に努めるとともに、インターネット情報の定期的な更新が必要である。</p>	

IV. 生涯スポーツ (1. スポーツ・レクリエーションの活性化)

具体的施策	事業の内容
(6) 体育施設の整備と活用の促進	<p>1) 体育施設の開放と利用促進</p> <p>社会体育施設、学校体育施設を開放し、町民にスポーツの場を提供し、スポーツの日常化を推進した。</p> <p>○社会体育施設</p> <p>①町立長島体育館 4月1日～3月31日 7,499人</p> <p>②町営長島球場 4月1日～11月30日 4,157人</p> <p>③町営テニスコート 4月1日～11月30日 2,202人</p> <p>○学校体育施設</p> <p>①平泉小学校(体育館、校庭) 4月1日～3月31日 11,586人</p> <p>②長島小学校(体育館、校庭) 4月1日～3月31日 5,031人</p> <p>③平泉中学校(体育館、校庭、柔剣道場) 4月1日～3月31日 11,827人</p> <p>2) 施設管理・整備体制の充実</p> <p>町立長島体育館及び町営テニスコートクラブハウスに管理人を配置し、社会体育施設(3施設)の施設管理を通年行った。</p> <p>3) 社会体育施設整備等</p> <p>各施設の修繕工事等を行い、適正管理に努めた。</p> <p>町立長島球場 平泉町営長島球場内野グラウンド整備 972,000円</p>
<p><b>【評価及び今後の方向性】</b></p> <p>体育施設の維持管理の充実を図るとともに、開放を積極的に行った結果、町民のスポーツの利用促進が図られた。</p> <p>スポーツの利用促進のため引き続き、維持管理体制の充実に努める。</p>	

## 4 評価委員会の意見

### 1) 平泉町教育委員会事務点検評価委員会委員名簿

分野	氏名	備考
学校教育	鈴木 のり子	元幼稚園長
社会教育	佐藤 由 吏	前長島地区婦人会長
地域代表者	瀧澤 次 守	17 区区長

### 2) 評価委員会の開催状況

第 1 回評価委員会 7 月 2 9 日 (月) 15 : 00 ~ 17 : 00

第 2 回評価委員会 8 月 7 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30

### 3) 評価委員からの質問、意見

#### I. 学校教育

○幼・保・小・中の連携は大切であり、家庭の在り方についての指導とともに各学校で、共通理解の上、連携をさらに深めてほしい。

○特別支援教育については、専門家チームとの連携を図りつつ、担任の教諭が現場での指導に活かせるように、引き続き教育相談や研修の機会を確保して対応してほしい。

○不登校対応については、担任の先生が中心となり、子どもたちの結びつきを大切にし、専門の先生の指導による対応や、適応支援相談員によるきめの細かい支援についてそれぞれ連携の上、対応をしてほしい。

○適応支援相談員の配置については、現状 1 名となっているが、町内小中 3 校で 1 名となっていることから、ぜひ増員をお願いしたい。

○登下校防犯プランについて、防犯上心配される箇所の周知についてはどのようなになっているのか。

回答：30 年度については、特に心配な箇所は 0 件でした。今年度は地区懇談会で協議してもらっており、交通安全施設と防犯上心配な箇所について点検の上スクールガードや関係者で情報共有の上対応していく。

○支援を要する児童生徒等の人数が増加傾向にあり、知能検査等の検査依頼が増加しているとのことだが、親のとらえ方やその内容はどうか。

回答：知能指数というよりは、行動の障がいでの困難さについての検査依頼が大半です。

#### II. 社会教育

○綿密な計画により実施し評価内容も適切なものと思われる。継続した対応が望

まれる。

○生涯学習町民のつどいについては、これまでの内容と異なり、児童生徒の学習活動の成果発表の場として多くの町民の参加が得られたのでとても良かった。

○教育振興運動で取り組んでいるノーテレビデーについて家庭内でのルール決めはしているようだが、その実践が課題となっており、子ども・学校・家庭・地域・行政が連携の上対応してほしい。

○社会教育事業については社会教育委員会議での議論を踏まえ、より中身の濃い事業を実施してほしい。

○地区公民館活動で、町公民館の補助事業を活用していない地区もあるということなので、地区での活用を働きかけたい。

○20代30代を対象にした青年層での活動についてどのような対応を検討しているのか。

回答：具体的な内容は未定だが、単なるサークル活動ではなく、東北の文化探究に特化するなど活動目的を定め興味あるものにしたい。参加人数確保が課題となるが、事業所や団体などに声がけをし毎年継続して募集を図っていく。

○社会教育は幅広い年齢層を対象に、土日の事業等も多いので大変だと思うが、適切に対応してほしい。

○放課後子ども教室や学校支援ボランティアについて、ボランティア活動への参加者募集の周知方法をさらに検討してほしい。

○以前作成した社会教育分野での人材リストはどうなっているのか。

回答：作成後かなりの年数が経過しており、その後の更新はされていないが、今後検討していきたい。

○公民館事業での各種講座や事業については、活動時間の設定については、参加者の意向を確認の上適切な時間帯の設定に努めてほしい。

### Ⅲ．文化行政

○文化遺産センターの展示については、平泉の歴史について分かりやすくなっているが、入館者実績は減少しており、その要因はどのように捉えているか。

回答：ガイドランス施設として入館者数は子どもの占める割合も多く少子化の影響がある。観光コースに入っているが団体客が減少気味である。

○文化遺産センターの入館料について、有料化の検討をしてはいかがか。

○文化遺産センターのホール及び研修室の利便性を向上させてほしい。  
○小中学生の郷土芸能体験講座について中学生は希望者のみの参加かどうか。参加人数が少ないのではないか。

○町指定文化財(天然記念物)についての案内表示板の設置や周知方法を検討してほしい。

○無量光院跡については整備中ではあるが立入についても検討してほしい。

○観自在王院跡の庭園の水はけが悪いので改良してほしい。

○文化財愛護少年団について、5, 6年生10人程度の参加となっているようなので団員数の増加を検討すべき。

#### IV. 生涯スポーツ

○出前スポーツ教室について幼稚園・保育所等での体力づくりに繋がっていると思うのでぜひ継続実施してほしい。

○夢の教室事業について、夢を持つことや、夢に向かって努力することの大切さを学ぶことに役立っていると思うので継続実施してほしい。

○スポーツ少年団の団体数はいくつか。また補助金の配分状況は。  
回答：スポーツ少年団の加盟団体は11団体で、補助金の配分は加盟団体に一律で3万円プラス団員1人当たり240円の配分となっている。

○ニュースポーツへの取り組み状況について毎年新しい内容を紹介しているのか。  
回答：毎年新種目とはなっていないが、数年をかけ普及させ適宜新しい種目を導入している。

○町営テニスコートの利用状況に中学生は入っているのか。また、町外の方の利用があるのか。  
回答：中学生の部活動は計上していない。町外の方の利用もあります。

○学校開放は、個人でも借りられるのか。  
回答：団体登録をした団体に開放しており個人への開放は不可。

○ふるさとオリンピアは人口減少、高齢化の中で行政区対抗形式での継続は検討してほしい。

○体育館にスポーツジムのな機器(健康器具)について検討してほしい。

## 5 参考資料

### I 学校教育指導指針

#### 1. 基本方針

学校、家庭、地域が一体となって平泉町教育目標の達成に向け、学校教育の充実と教育水準の向上を期し、教育条件の整備充実を図るとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえた取り組みを進めるなかで、それぞれの発達段階や地域の特性に応じた、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（たくましい体）の調和のとれた幼児・児童・生徒の育成を目指す。

#### 2. 重点目標

##### (1) 確かな学力

基礎・基本の定着を踏まえた確かな学力の向上、一人ひとりの個性を重視したきめ細やか指導の充実を目指す。

##### (2) 豊かな心

郷土の歴史や伝統・文化に自信と誇りを持ち、国際的視野に立ち、他と協調しながら、自他の立場を理解し、心に響く道徳性に富んだ、おもいやりのある幼児・児童・生徒の育成を目指す。

##### (3) たくましい体

運動の特性や基本的行動様式を身につけさせ、健康でたくましい体を育み、社会の変化に主体的に対応できる心身のたくましい幼児・児童・生徒の育成を目指す。

#### 3. 重点施策

##### (1) 学校経営・教育課程

###### ① 学校経営の充実

- 地域の実態及び学校の課題を明らかにし、その課題を踏まえた創意工夫ある学校経営に努める。
- 学校教育目標、学年目標、学級目標を系統化し、全教職員の共通理解によりその日常実践化を図る。
- 定期的に経営評価を実践することにより、年次的な重点目標の設定を行い、学校経営の改善に努める。
- 開かれた学校として、積極的に学校施設を開放するとともに、地域の人々の理解と協力を得、地域に根ざした学校づくりに努める。

###### ② 特色ある教育課程の編成と実施

- 学習指導要領の趣旨に基づき、地域の実態や学校の課題及び児童生徒の心身の発達や特性に応じた教育課程を編成し実施する。
- 基礎学力の確実な定着を図るため、各教科と領域の指導内容の厳選を行う。
- 「総合的な学習の時間」の位置づけを明らかにすることにより、教育課程の弾力化を図る。

## (2) 学習指導

### ① 基礎学力の定着を図る学習指導の充実

- 指導目標及び指導過程の明確化と基礎的、基本的内容をおさえた授業の展開と基本的学習習慣の確立を図る。問題解決的学習や体験的学習の導入により、学ぶことの楽しさや成就感を与え、主体的な学習態度の育成を図る。
- 日常の目標に準拠した評価や学習定着度状況調査・C R T等の検査結果をもとに、学習達成状況の的確な把握に努め、個に応じた指導を工夫する。
- 少人数指導を積極的に導入し、補充的学習・発展的学習を推進する。
- コンピューター等の教育機器や学校図書館、教育施設の積極的活用を図る。

### ② 計画性のある研修活動の推進

- 自校の教育課題を明確にした研究研修計画を策定し、指導法の充実深化を図り実践的指導力の向上に努める。
- 各種研修会、講座等へ課題意識を持って、積極的に参加し、有効活用に努める。
- 主体的な個人研究と充実した校内研究が行われるよう全校・学年・教科等による組織体制を確立する。

### ③ 適正な就学指導に基づく特別支援教育の充実

- 綿密な実態調査と的確な判断に基づく適正な就学指導に努める。
- 障がいのある幼児児童生徒等への理解を深めるとともに、家庭及び関係機関との連携強化を図る。

### ④ 就学前教育の充実

- 園児の一人ひとりの特性を的確に把握し、遊びをとおして周囲の環境と主体的にかかわりあいながら活動できるような場の設定を図るとともに、意欲的な人間を目指し、物事に興味関心をもつよう指導援助する。
- 生活科を中心とした幼・保・小の相互交流を図り、教師間の相互理解を深める。
- 積極的な研修の推進と保育実践の充実を図る。

## (3) 心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、豊かな心と主体性を培う教育活動の推進

### ① 好ましい人間関係を基盤とした生徒指導の推進

- 児童生徒の基本的な生活習慣や自己指導能力を育成するため、温かくさわやかな人間関係を確立し、幼児児童生徒理解を深め、個と発達段階に応じた指導の充実に努める。
- いじめや不登校の問題に関しては、早期発見に努め、全職員の共通理解のもと、指導と支援を組織的・継続的に行う。
- 学校、家庭、地域、関係機関との連携を密にし、生徒指導体制の充実・強化を図る。

### ② 児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成

- 児童生徒の実態を的確に把握し、学校として道徳教育の方針を明らかにし、道徳と各教科等との関連及び家庭や地域との連携を明らかにした全体計画を作成する。
- 豊かな情操と正しい判断力を育て、道徳的態度や実践力を養うため、各教科や特別活動等との関連を図り体験をとおした道徳的実践の指導を意図的・計画的

に行う。

③ 自主性を育てる特別活動の充実

- 児童会・生徒会活動における自主的活動の場の設定と指導の工夫を図る。
- 学級活動を中心に教育活動全般をとおして、人間の生き方について考えさせるとともに啓発的体験を多く取り入れる。
- リーダー育成を図り自治能力・自浄能力のある児童生徒会の育成を図る。

④ 豊かな心を育む情操教育の重視

- 読書の奨励と図書館利用を計画的に行い、読書の習慣化を図るとともに豊かな心を育む。
- 授業における言語環境の整備と意図的・計画的な掲示教育を組織的に行う。

⑤ 実践的な態度の育成を目指す体験学習の充実

- 地域や学校の実態に即した勤労体験学習の場を計画的に設定する。
- 英語指導助手の効果的活用を図り、体験学習の一環として組織的・継続的に国際理解教育の充実を図る。

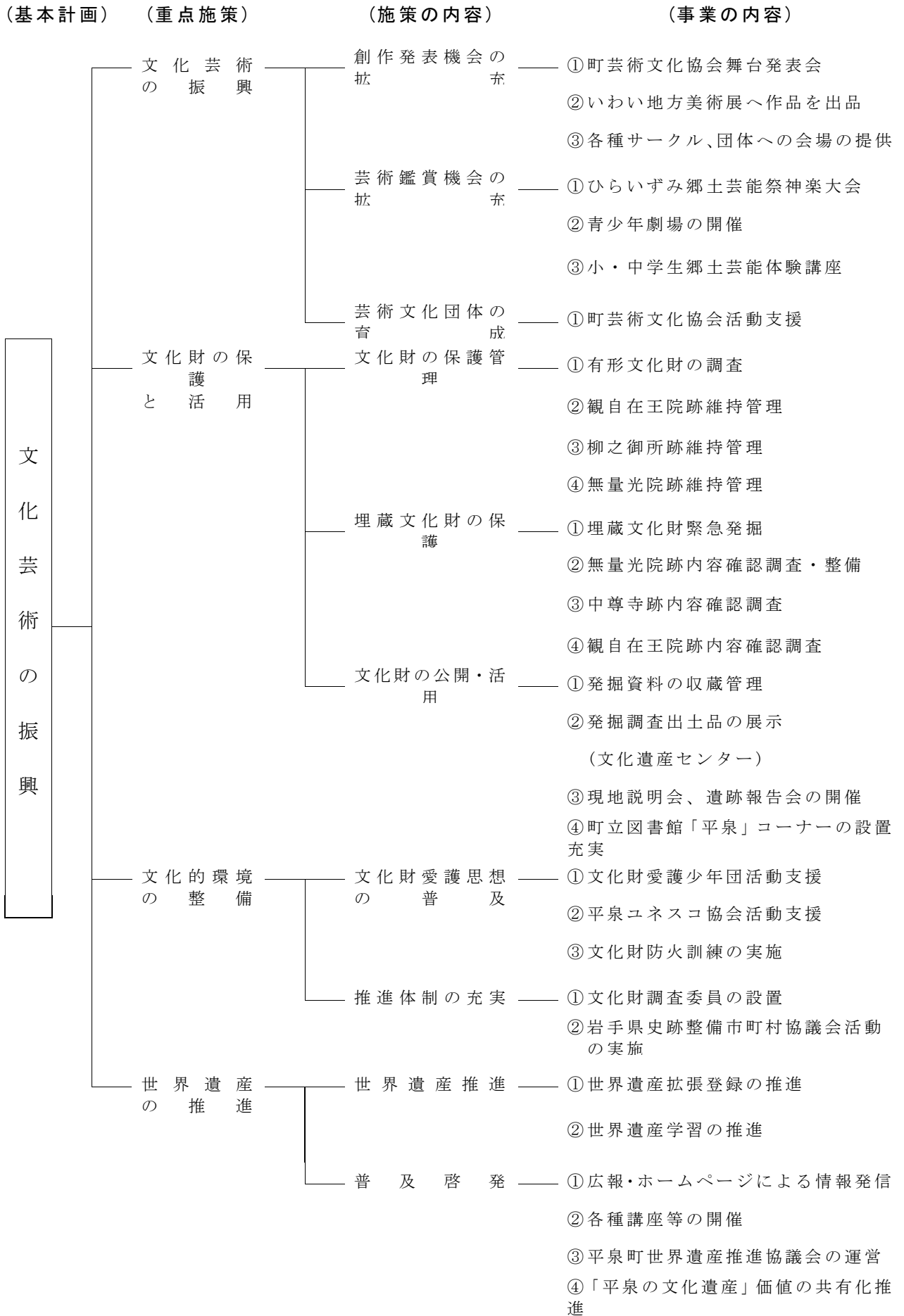
(4) 生命を尊重し、健康の保持・増進を目指し、保健、教科体育活動の充実

① 体力向上・健康で安全な生活を目指した保健体育、教科体育、安全指導の徹底

- 学校教育活動全般をとおして、幼児児童生徒の体力の向上を図るため、教科体育の充実と自ら進んで心身を鍛える場の工夫に努める。
- 健康で安全な生活を送るための知識や技能を習得させ、自他の生命を尊重する能力や態度の育成に努める。
- 学校給食のねらいと位置づけを明確にし、好ましい人間関係と食の習慣化を図る。
- 交通安全教育に対する家庭の理解を深め、家庭・地域及び関係機関との連携による組織的安全指導に努める。



(2) 文化行政施策体系図



### (3) 生涯スポーツ振興計画体系図

